

JATET-L-7100-5

演出空間用調光装置の表示規格
(銘板類)

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

JATET : THEATRE AND ENTERTAINMENT TECHNOLOGY ASSOCIATION, JAPAN

制定：平成 9年 2月
改正：平成14年10月
改正：平成20年 3月
改正：平成25年 3月
改正：平成26年 3月
改正：令和 2年 3月

この規格については、少なくとも5年を経過するまでに審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

1. 目 的	1
2. 適用範囲	1
3. 用語の意味	1
3.1 調光装置	
3.2 幹線	
3.3 多電源	
3.4 母線	
4. 表示の原則事項	1
4.1 表示の原則	
4.2 表示の分類	
4.3 表示の手段	
4.4 銘板の種類	
4.5 輸入製品に対する表示	
5. 表示内容	3
5.1 主銘板	
5.2 副銘板	
5.3 補助銘板	
5.4 移動形銘板	
6. 表示方法	8
6.1 表示方法の基本事項	
6.2 主銘板	
6.3 副銘板	
6.4 補助銘板	
6.5 移動形銘板	
7. 銘板表示例	10
8. 関連規格と本規格の関係	13

1. 目的

演出空間用調光装置（以下調光装置という。）は、舞台・テレビスタジオ等で行われる催物、演劇、番組制作等の演出照明を行う装置で複合した機器で構成される。

調光装置は、日本産業規格（JIS規格）等の分類に適合する項目がなく、独立した機能区分とする。

調光装置の銘板類の表示は、適正使用するために必要な情報を表示しなければならない。またその表示方法は、取扱者にとって明確に認識できる必要がある。本規格は、銘板類の記載内容およびその表示方法の統一を計り、的確な情報が提供できることを目的とする。

2. 適用範囲

本規格は、調光装置の据置形、移動形の銘板類について適用する。

なお、本規格に記載のない機器固有の表示事項については、固有の項目を追加して表示するものとする。

3. 用語の意味

この規格で用いる主な用語の意味は次による。

3.1 調光装置

光源の光の量の変化および機器の動作を制御し、演出空間における照明システムを総合的に制御することを目的とし、給配電機器と電路ごとに光の量を調節する調光器を収納した機器および制御機器等を、有機的に結合した装置をいう。

3.2 幹線

受配電設備の低圧配電盤等の該当する主過電流遮断器、主開閉器または、主断路器等から調光装置の受電端に至る配線をいう。

3.3 多電源

調光装置に主電源のほか、客席照明灯用、作業灯用など別系統の電源から受電することをいう。

3.4 母線

調光装置内で二つ以上の分岐過電流遮断器・分岐開閉器等に電気を供給するために設けられた電気導体をいう。

4. 表示の原則事項

4.1 表示の原則

本規格にしたがった表示を原則とする。

ただし、表示方法に指定がある場合は、それにしたがった表示としても良い。

4.2 表示の分類

表示は、その目的のため、下記に分類する。

- (1) 用途限定のための表示項目（以下用途限定表示という。）
- (2) 数値で表せる定格表示項目（以下定格表示という。）
- (3) 適正使用のための情報表示項目（以下情報表示という。）
- (4) その他の表示項目

4.3 表示の手段

本体に付着させる銘板は、ラベル、本体に直接刻印あるいは印刷等の適切な方法を用いるものとし、これらを総称して銘板類とする。

4.4 銘板の種類

銘板は、その目的により下記の種類に分類する。

- (1) 主銘板 調光装置に表示する銘板。
5.1に示した表示項目を表記する。
- (2) 副銘板 主に制御電源を必要とする機器に表示する銘板。
5.2に示した表示項目を表記する。
- (3) 補助銘板 (2)以外の機器に表示する銘板。
5.3に示した表示項目を表記する。
- (4) 移動形銘板 移動形の調光装置に表示する銘板。
5.4に示した表示項目を表記する。
- (5) 盤名称板 用途に基づく固有の名称を表記する。
- (6) 社名板 社名・商標または、ロゴマーク等を表記する。

ただし、必要に応じ複合して表示しても良い。

4.5 輸入製品に対する表示

調光装置等を輸入、販売する者は、本規格に準じた表示をすることを原則とする。

5. 表示内容

5.1 主銘板

表示内容は、下記の通りとする。ただし、多電源用調光装置の場合は、電源種別ごとに定格表示を表記する。尚、同一電源から分岐する場合は、最大容量のものを表記する。

番号	分類【項目名】表示内容	表現方法等
1	用途限定表示 【用途表示】 「調光装置」の表示	◇「演出空間用調光装置」であることを明示する。 ◇「調光装置」としても良い。
2	情報表示 【機器名称表示】 「調光□□盤」	◇盤名称、機器名称等を表記する。
3	定格表示 【定格電圧】 「定格電圧□□V」	◇調光装置の幹線または母線に加わる供給電圧の定格値を 表記する。 例：相電圧／線間電圧
4	定格表示 【相数による方式 線式】 「□相□線式」	◇調光装置が受ける電源の相数、線式を表記する。 例：三相4線式 単相3線式
5	定格表示 【定格周波数】 「定格周波数□□Hz」	◇調光装置が機能する周波数を表記する。 ◇50Hzと60Hz共用の場合は、50/60Hzと表記する。
6	定格表示 【定格電流】 「定格電流□□□A」	◇主過電流遮断器、主開閉器を有する場合は、その定格電流 とし、主開閉器がない場合は母線の定格電流を表記する。
7	情報表示 【保護等級】 「IP□□」	◇保護構造の等級を表記する。充電部に対する保護構造は、 JIS C 0920-2003の付属書による。 例：IP2XC
8	情報表示 【製造年月】	◇製造年月、または、それらの略号でも良い。
9	情報表示 【製造番号】	◇番号は、略号でも良い。
10	情報表示 【製造者名】	◇[製造業者名]（フルネーム）、[略称]または、 [登録商標]のいずれかを表示する。
11	その他表示 【表示者名】	◇表示者の名称をフルネームで表記する。 ◇登録商標を併記しても良い。 ◇製造業者と表示者が同一であって、製造者名がフルネーム で表示されている時は、表示者名の表記を省略しても良い。
12	その他表示 【型式】	◇型式名称、モデル番号（型番）、品番等を表記する。 ◇必要が無い場合は省略しても良い。
13	情報表示 【請負者名】又は【施工者名】	◇独立した別銘板としても良い。

5.2 副 銘 板

表示内容は、下記の通りとする。

番号	分類【項目名】表示内容	表現方法等
1	用途限定表示 【用途表示】 「調光装置」の表示	◇「演出空間用調光装置」であることを明示する。 ◇「調光装置」としても良い。
2	情報表示 【調光操作卓】	◇卓名称等を表記する。
3	定格表示 【定格電圧】 「定格電圧□□□V」	◇調光操作卓等，電源を必要とする機器の入力定格電圧を 表記する。
4	定格表示 【定格周波数】 「定格周波数□□Hz」	◇調光操作卓等が機能する周波数を表記する。 ◇50Hzと60Hz 共用の場合は，50/60Hzと表記する。
5	定格表示 【消費電力】 「定格電力□□□□w」	◇調光操作卓等が消費する電力を表記する。
6	情報表示 【保護等級】 「IP□□□」	◇保護構造の等級を表記する。充電部に対する保護構造は、 JIS C 0920-2003の付属書による。 例：IP2XC
7	情報表示 【製造年月】	◇製造年月，または，それらの略号でも良い。
8	情報表示 【製造番号】	◇番号は，略号でも良い。
9	情報表示 【製造者名】	◇【製造業者名】（フルネーム），【略称】または， 【登録商標】のいずれかを表示する。
10	その他表示 【表示者名】	◇表示者の名称をフルネームで表記する。 ◇登録商標を併記しても良い。 ◇製造業者と表示者が同一であって，製造者名がフルネーム で表示されている時は，表示者名の表記を省略しても良い。
11	その他表示 【型式】	◇型式名称，モデル番号（型番），品番等を表記する。 ◇必要が無い場合は省略しても良い。
12	情報表示 【請負者名】又は【施工者名】	◇独立した別銘板としても良い。

5.3 補助銘板

表示内容は、下記の通りとする。

番号	分類【項目名】表示内容	表現方法等
1	用途限定表示 【用途表示】 「調光装置」の表示	◇「演出空間用調光装置」であることを明示する。 ◇「調光装置」としても良い。
2	情報表示 【機器名称表示】 「調光□□盤」	◇盤名称，機器名称等を表記する。
3	情報表示 【製造年月】	◇製造年月，または，それらの略号でも良い。
4	情報表示 【製造番号】	◇番号は，略号でも良い。
5	情報表示 【製造者名】	◇〔製造業者名〕（フルネーム），〔略称〕または，〔登録商標〕のいずれかを表示する。
6	その他表示 【表示者名】	◇表示者の名称をフルネームで表記する。 ◇登録商標を併記しても良い。 ◇製造業者と表示者が同一であって，製造者名がフルネームで表示されている時は，表示者名の表記を省略しても良い。
7	その他表示 【型式】	◇型式名称，モデル番号（型番），品番等を表記する。 ◇必要が無い場合は省略しても良い。
8	情報表示 【請負者名】または【施工者名】	◇独立した別銘板としても良い。

5.4 移動形銘板

(1) 移動形調光器

表示内容は、下記の通りとする。ただし、多電源用調光装置の場合は、電源種別ごとに定格表示を表記する。尚、同一電源から分岐する場合は、最大容量のものを表記する。

番号	分類【項目名】表示内容	表現方法等
1	用途限定表示 【用途表示】 「調光装置」の表示	◇「演出空間用調光装置」であることを明示する。 ◇「調光装置」としても良い。
2	情報表示 【機器名称表示】 「調光□□盤」	◇盤名称、機器名称等を表記する。
3	定格表示 【定格電圧】 「定格電圧□□□V」	◇調光装置の幹線または母線に加わる供給電圧の定格値を表記する。 例：相電圧/線間電圧
4	定格表示 【相数による方式 線式】 「□相□線式」	◇調光装置が受ける電源の相数、線式を表記する。 例：三相4線式 単相3線式
5	定格表示 【定格周波数】 「定格周波数□□Hz」	◇調光装置が機能する周波数を表記する。 ◇50Hzと60Hz共用の場合は、50/60Hzと表記する。
6	定格表示 【定格電流】 「定格電流□□□□A」	◇主過電流遮断器、主開閉器を有する場合は、その定格電流とし、主開閉器がない場合は母線の定格電流を表記する。
7	情報表示 【調光出力・直出力】 「調光出力□□A×□□ 直出力□□A×□□」	◇調光容量と数量等を表記する。
8	情報表示 【制御信号】	◇調光制御信号の種類を表記する。 例：DMX-512
9	情報表示 【本体質量】 「質量□□□kg」	◇付属品を含まない機器本体の質量を表記する。
10	情報表示 【保護等級】 「IP□□□」	◇保護構造の等級を表記する。充電部に対する保護構造は、JIS C 0920-2003の付属書による。 例：IP2XB
11	情報表示 【製造年月】	◇製造年月、または、それらの略号でも良い。
12	情報表示 【製造番号】	◇番号は、略号でも良い。
13	情報表示 【製造者名】	◇【製造業者名】（フルネーム）、【略称】または、【登録商標】のいずれかを表示する。
14	その他表示 【表示者名】	◇表示者の名称をフルネームで表記する。 ◇登録商標を併記しても良い。 ◇製造業者と表示者が同一であって、製造者名がフルネームで表示されている時は、表示者名の表記を省略しても良い。
15	その他表示 【型式】	◇型式名称、モデル番号（型番）、品番等を表記する。 ◇必要が無い場合は省略しても良い。

5.4 移動形銘板

(2) 移動形調光操作卓

表示内容は、下記の通りとする。

番号	分類【項目名】表示内容	表現方法等
1	用途限定表示 【用途表示】 「調光装置」の表示	◇「演出空間用調光装置」であることを明示する。 ◇「調光装置」としても良い。
2	情報表示 【調光操作卓】	◇卓名称等を表記する。
3	定格表示 【定格電圧】 「定格電圧□□□V」	◇調光操作卓等、電源を必要とする機器の入力定格電圧を表記する。 例：相電圧／線間電圧
4	定格表示 【定格周波数】 「定格周波数□□Hz」	◇調光操作卓等が機能する周波数を表記する。 ◇50Hzと60Hz共用の場合は、50／60Hzと表記する。
5	定格表示 【消費電力】 「定格電力□□□w」	◇調光操作卓等が消費する電力を表記する。
6	情報表示 【制御信号】	◇調光制御信号の種類を表記する。 例：DMX-512
7	情報表示 【本体質量】 「質量□□□kg」	◇付属品を含まない機器本体の質量を表記する。
8	情報表示 【保護等級】 「IP□□□」	◇保護構造の等級を表記する。充電部に対する保護構造は、JIS C 0920-2003の付属書による。 例：IP2XB
9	情報表示 【製造年月】	◇製造年月、または、それらの略号でも良い。
10	情報表示 【製造番号】	◇番号は、略号でも良い。
11	情報表示 【製造者名】	◇[製造業者名]（フルネーム）、[略称]または、[登録商標]のいずれかを表示する。
12	その他表示 【表示者名】	◇表示者の名称をフルネームで表記する。 ◇登録商標を併記しても良い。 ◇製造業者と表示者が同一であって、製造者名がフルネームで表示されている時は、表示者名の表記を省略しても良い。
13	その他表示 【型式】	◇型式名称、モデル番号（型番）、品番等を表記する。 ◇必要が無い場合は省略しても良い。

6. 表示方法

6.1 表示方法の基本事項

調光装置は、システム機能及び構成から複合集合体で成り立っている。したがって、分離分割されない一体一式が基本で、システムの規模（大きさ）により分離分割する場合においても単体単独で機能しないため一体ものと見なす。

銘板表示方法は、主銘板を一体一枚を原則として下記により表示する。

6.2 主 銘 板

(1) 調光装置の、主過電流遮断器または主開閉器を収納している機器の扉部内側の見やすい位置とする。ただし、主過電流遮断器または主開閉器がない場合は、幹線接続部を収納している機器の同一位置とする。

(表示方法例 図－1・図－2)

(2) 調光装置が分割設置される場合は、分岐過電流遮断器または分岐開閉器を収納している機器の扉部内側の見やすい位置とする。

(表示方法例 図－3)

6.3 副 銘 板

制御電源装置を必要とする機器（調光操作卓等）の扉部内側の見やすい位置とする。

(表示方法例 図－2・図－3)

6.4 補助銘板

制御電源装置を必要としない機器（調光遠方操作盤等）の扉の内側で見やすい位置とする。

(表示方法例 図－2・図－3)

6.5 移動形銘板

電源方式が一つの場合は、6.2主銘板による。2以上の電源が選択できる場合は、その電源方式すべてを表記する。ただし、この場合は、補足表示として電源の接続方式、警告表示を本体に補足表記すること。

(表示方法例 図－4)

なお、扉がない構造の場合は、操作上支障のない位置としても良い。

以下に代表的な分割した場合の構成機器名称表示例を示す。

演出空間用調光装置	調光主幹盤
演出空間用調光装置	調光器盤
演出空間用調光装置	調光分岐盤
演出空間用調光装置	調光操作卓
演出空間用調光装置	調光遠方操作盤
演出空間用調光装置	調光負荷表示灯盤

表示方法例

図-1 単体形
主幹+調光器+制御部

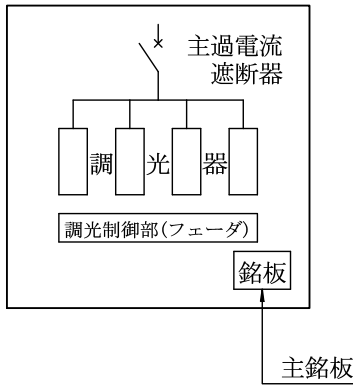


図-4 移動形

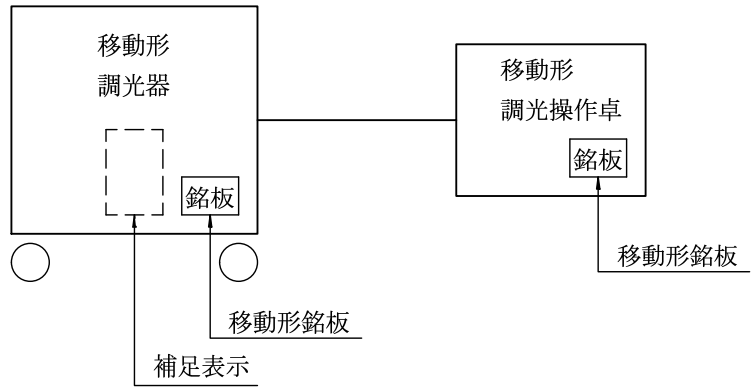


図-2 連結盤形
主幹+調光器(連結盤)

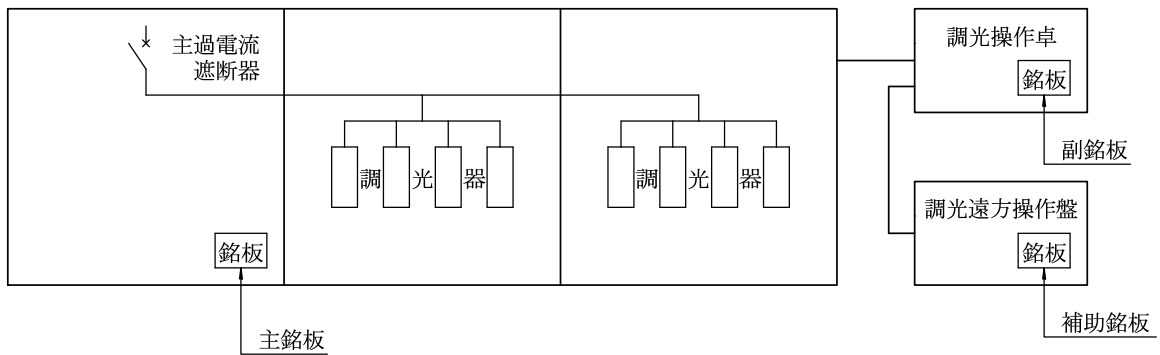
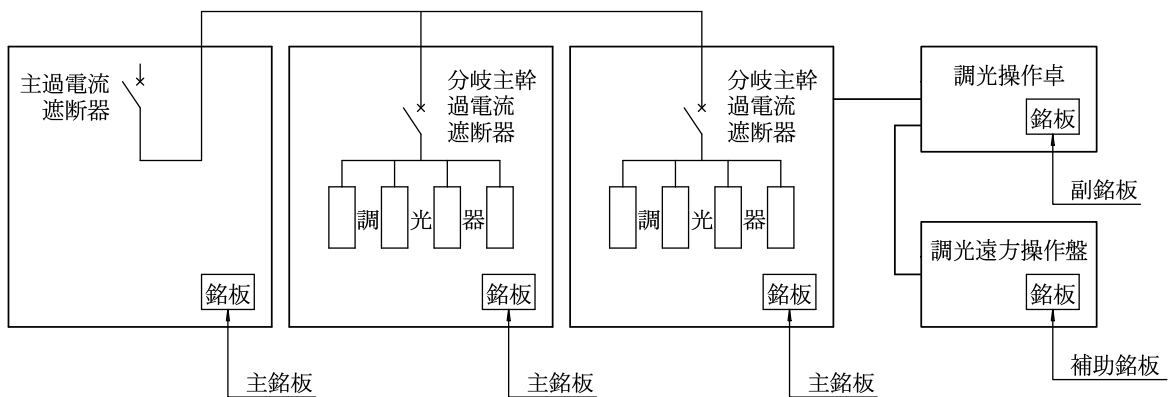


図-3 単独盤組合せ形
単独主幹盤+単独調光器盤(単独盤を組合せ)



7. 銘板表示例

(1) 主銘板

1. 單一電源表示

演出空間用調光裝置			
機器名稱	型式		
定格電壓	V/	V	相 線式
定格電流	A	定格周波數	Hz
保護等級	IP		
製造年月	年 月	製造番號	
製造業者名			

2. 多電源表示

演出空間用調光裝置			
機器名稱	型式		
電源名稱			
定格電壓	V/ V	V/ V	V/ V
相、線式	相 線式	相 線式	相 線式
定格周波數	Hz	Hz	Hz
定格電流	A	A	A
保護等級	IP		
製造年月	年 月	製造番號	
製造業者名			

(2) 副銘板

演出空間用調光裝置			
機器名稱	型式		
定格電壓	V	定格周波數	/ Hz
消費電力	W	保護等級	IP
製造年月	年 月	製造番號	
製造業者名			

(3) 補助銘板

演出空間用調光裝置			
機器名稱	型式		
製造年月	年 月	製造番號	
製造業者名			

(4) 移動形銘板

1-1. 移動形調光器 (1 電源の場合)

演出空間用調光装置			
機器名称	型式		
定格電圧	V/	V	相 線式
定格電流	A	定格周波数	Hz
調光出力	直出力		
制御信号			
質量	kg	保護等級	IP
製造年月	年 月	製造番号	
製造業者名			

1-2. 移動形調光器 (2 以上の電源を選択できる場合)

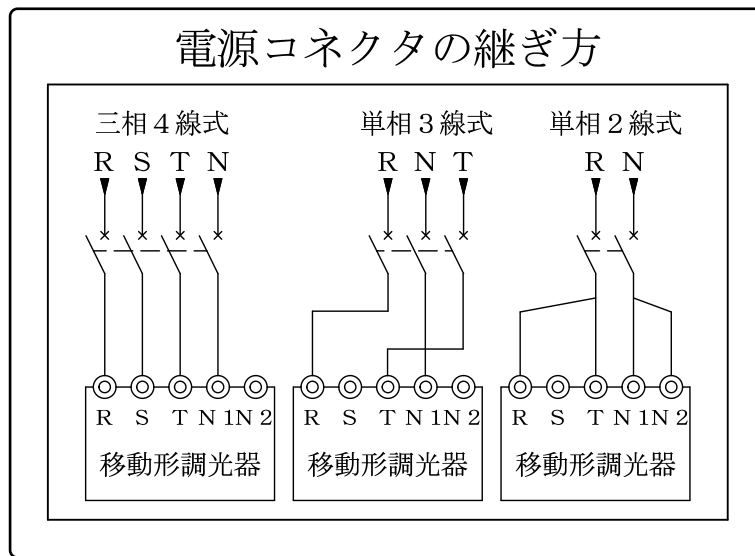
演出空間用調光装置			
機器名称	型式		
定格電圧	V/ V	V/ V	V/ V
相、線式	相 線式	相 線式	相 線式
定格周波数	Hz	Hz	Hz
定格電流	A	A	A
調光出力	直出力		
制御信号			
質量	kg	保護等級	IP
製造年月	年 月	製造番号	
製造業者名			

2. 移動形調光操作卓

演出空間用調光装置			
機器名称	型式		
定格電圧	V	定格周波数	/ Hz
消費電力	W		
制御信号			
質量	kg	保護等級	IP
製造年月	年 月	製造番号	
製造業者名			

3. 補足表示

3-1. 接続方法



3-2. 警告表示

警告

火災・故障のおそれあり

- 電源の電圧・相・線式・容量に合わせて確実に接続してください。
- 付属の電源用ケーブル以外は、使用しないでください。
- 三相3線式電源は、接続しないでください。
- 下図のような单相電源から4線引き接続はしないでください。

单相2線式

電源 100V

R 移動形調光器

S

T

N

8. 関連規格と本規格の関係

本規格は、日本産業規格 JIS C 8480- 2016 キャビネット形分電盤，公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成 31 年版）分電盤，制御盤の表示事項を基本として作成した。本規格との比較を下記に示す。

項 目	J I S			J A T E T 規 格				
	分電盤 C 8480	標準仕様書		調光装置	調光操作卓	遠方操作盤	調光装置	調光操作卓
		分電盤	制御盤	(主銘板)	(副銘板)	(補助銘板)	(移動形銘板)	
名称	○	○	○	○	○	○	○	○
定格電圧	○	○	○	○	○		○	○
相数による方式	○	○	○	○			○	
線式	○	○	○	○			○	
定格周波数	○	○	○	○	○		○	○
定格遮断容量			○					
制御回路の定格電圧			○					
定格電流	○	○		○			○	
定格短時間耐電流	○	○						
消費電力					○			○
調光器容量							○	
制御信号							○	○
本体質量							○	○
保護等級	○	○	○	○	○		○	○
製造年月	○	○	○	○	○	○	○	○
製造番号			○	○	○	○	○	○
製造者名	○	○	○	○	○	○	○	○
請負者名		○	○	○	○	○		
多電源	○	○	○	○			○	

J A T E T 照明部会 LED演出照明設備調査研究会

	氏 名	所 属
委員長	○加 藤 憲 治	ライティングビッグワン株式会社
副部会長	○岡 田 一 雄	株式会社エイチ・ツー・オー
副部会長	佐々木 光 一	ウシオライティング株式会社
委 員	青 野 時 彦	株式会社東京舞台照明
委 員	市 瀬 守	株式会社東京舞台照明
委 員	○岩 澤 啓 二	株式会社松村電機製作所
委 員	役 野 善 道	パナソニック株式会社ライフソリューションズ社
委 員	角 佳 和	パナソニック株式会社ライフソリューションズ社
委 員	小久保 和 紀	愛知県舞台運営事業協同組合
委 員	杉 田 芳 博	イグス株式会社
委 員	○立 田 雄 士	公益財団法人新国立劇場運営財団
委 員	中 澤 浩 一	東芝ライテック株式会社
委 員	永 井 烈	丸茂電機株式会社
委 員	○野 田 恭 正	株式会社松村電機製作所
委 員	湯 澤 薫	公益社団法人日本照明家協会
研究会主査	○中 島 修	東芝ライテック株式会社
委 員	○上 田 誠	丸茂電機株式会社
委 員	○小田部 正 人	パナソニックLSエンジニアリング株式会社
委 員	○佐 治 剛	丸茂電機株式会社
委 員	○三 浦 俊 文	パナソニック株式会社ライフソリューションズ社
委 員	○山 田 佳 宜	東芝ライテック株式会社

○は研究会委員

(公社) 劇場演出空間技術協会

住所 東京都千代田区神田鍛冶町三丁目8番地6
TEL 03(5289)8858 FAX 03(3258)2400

複写・複製・磁気媒体への入力等を禁じます。